



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	有限会社アド・ワン 農産物処理加工施設 新築工事	階数	2
建設地	札幌市東区丘珠町712-112	構造	S造
用途地域	市街化調整区域内、法22条区域、里地地域	平均居住人員	50 人
建物用途	工場	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
竣工年	2023年5月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	9,172 m ²	評価の実施日	2022年6月6日
建築面積	1,656 m ²	作成者	
延床面積	2,082 m ²	確認日	2022年6月8日
		確認者	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆ B-

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

□建設 □修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト

①参照値 100%

②建築物の取組み 86%

③上記+②以外のオンサイト手法 86%

④上記+オフサイト手法 86%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm]= 0.74

2-5 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.6

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項

総合 外壁と屋根に断熱材を用いて、建物全体で断熱性能への配慮を行っている。 室内空気質を健全に保つため、F☆☆の建築建材をほぼ全面的に採用している。	A 省エネルギー 建物の省エネルギー性能の向上に努めている。 事務所まわりの開口部を複層ガラスにして断熱化を図っている。
B 省資源等 換気ダクトにステンレスダクトを採用して長寿化を図っている。	C 緑化 特になし。
	D 雪処理 十分な堆雪スペースを確保し、敷地外へ雪をささないように配慮している。

4 ほかの認証・評価制度の利用

(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	なし	BELS認証	なし	LEED認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016 (ver.1.4)		■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0						
有限会社アド・ワン 農産物処理加工施設 新築工事		■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)						
スコアシート		■欄に数値またはコメントを記入						
実施設計段階								
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数			
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境					0.30		-	3.2
1 音環境				3.4	0.15		-	3.4
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-	
1.2 遮音				3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-	
1.3 吸音			天井及び壁にグラスウール系吸音材、床にカーペットを使用。	5.0	0.20		-	
2 温熱環境				3.0	0.35		-	3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50		-	
1 室温				3.0	0.38		-	
2 外皮性能	省エネ			3.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-	
2.3 空調方式				3.0	0.30		-	
3 光・視環境				3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.30		-	
1 昼光率				3.0	0.60		-	
2 方位別開口					-		-	
3 昼光利用設備	省エネ			3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-	
1 昼光制御	省エネ			3.0	1.00		-	
2 映り込み対策					-		-	
3.3 照度				3.0	0.15		-	
3.4 照明制御				3.0	0.25		-	
4 空気質環境				3.7	0.25		-	3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質			全面的にF☆☆☆☆の建材を採用している。	4.0	1.00		-	
4.2 換気				2.3	0.30		-	
1 換気量				1.0	0.33		-	
2 自然換気性能				3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-	
4.3 運用管理				5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				-	-		-	
2 喫煙の制御			全館禁煙。	5.0	1.00		-	

Q2 サービス性能				0.30	-	-	2.7
1 機能性				2.2	0.40	-	2.2
1.1 機能性・使いやすさ				1.6	0.40	-	
1	広さ・収納性			1.0	0.33	-	
2	高度情報通信設備対応			3.0	0.33	-	
3	バリアフリー計画			1.0	0.33	-	
1.2 心理性・快適性				2.3	0.30	-	
1	広さ感・景観 (天井高)		事務室の天井高さ 2.7m。	4.0	0.33	-	
2	リフレッシュスペース			2.0	0.33	-	
3	内装計画			1.0	0.33	-	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	
1	維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	
2	維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	
2	免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	
1	躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源		3.0	0.20	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源		3.0	0.10	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	ステンレスダクトを使用し長寿化を図っている。	4.0	0.10	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源		3.0	0.20	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源		3.0	0.20	-	
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	
1	空調・換気設備			3.0	0.20	-	
2	給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	
3	電気設備			3.0	0.20	-	
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	
5	通信・情報設備			2.0	0.20	-	
3 対応性・更新性				3.1	0.30	-	3.1
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	-	
1	階高のゆとり		平均値 5.30m	5.0	0.60	-	
2	空間の形状・自由さ		壁長さ比率 0.14	4.0	0.40	-	
3.2 荷重のゆとり				2.0	0.30	-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.20	-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.20	-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.20	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	

Q3 室外環境(敷地内)				0.40	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出	緑化		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	緑化		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.0
LR1 エネルギー				0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ			-	-	-	-
2 自然エネルギー利用	省エネ		3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネ	[BEQ][BEIm] = 0.74	3.6	0.63	-	-	3.6
4 効率的運用			2.5	0.25	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ			-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ			-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				0.30	-	-	2.5
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減	省資源		2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源		3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源		1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源		3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.3	0.20	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.0	0.70	-	-	
1 消火剤	省資源		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源		2.0	0.50	-	-	
3 冷媒	省資源		2.0	0.50	-	-	

LR3 敷地外環境				0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	省資源	ライフサイクルCO2排出 86%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止	省資源		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 悪化 軽減		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源	雨水流出の必要対策量以上の抑制を行っている。	4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		建物利用者のための駐輪場・駐車スペースを確保し、荷捌き用の駐車施設も確保できている。	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	生ゴミの減容化、除排雪のための空間を整備している。	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2 振動			3.0	0.50	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要			BEE	0.8	BEEランク	B ⁻
建物名称	有限会社アド・ワン 農産物処理加工施設 新築工事					
建物用途	工場					
延床面積	2,082.2	m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★★☆☆	
	雪処理	★★★★★	

3. 重点項目のCASBEEスコア							
A 省エネルギー (最高点 22.3 最低点 6.7)				合計		14.4点 /22.3点	
Q1 温熱環境	スコア	0.4 /0.7	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	0.0 /0.0		
Q1 光・視環境	スコア	1.0 /1.6	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.5 /2.5		
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	9.0 /12.5		
			LR1 効率的運用	スコア	2.5 /5.0		
B 省資源等 (最高点 24.4 最低点 7.8)				合計		13.3点 /24.4点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.7 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.3 /9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.2 /3.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	0.8 /1.9		
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.5 /5.0		
			LR3 地域環境への配慮	スコア	2.8 /4.4		
C 緑化 (最高点 19.5 最低点 3.9)				合計		8.7点 /19.5点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	1.2 /6.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.5 /2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	4.8 /8.0					
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.2 /3.0					
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)				合計		3.0点 /3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0 /2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数